

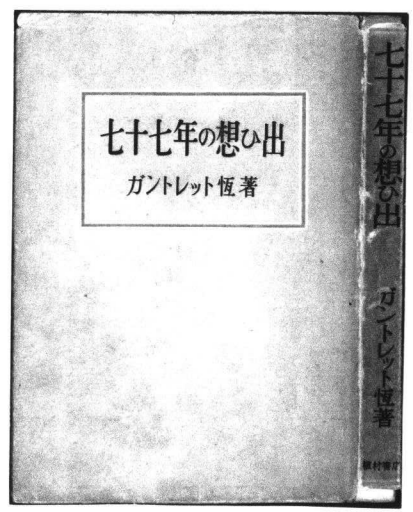
ガントレット嬢 ガントレット嬢 女子教育家、社会事業家。明治二十九年一月二十日の愛知縣海部郡豊田村に生れ、昭和二十八年十一月二十九日歿（六三—一九五三）。舊姓山田。作曲家山田耕作は其の弟。櫻井女学校マリーン女子学院に入ると高専で二年の時退く。英語の教員検定試験前期を受け合格し、宇都宮の女子学院分校に赴任。次ぐ前橋の共愛女学院の専任、後ら女性宣教師パミリーの巡回傳道に通譯として同行。明治二十一年兼洋英和學校の英語教師エドワード・ザントレットと結婚して英國籍となり、外國人妻として法的に止むな手續を完了した。最初の實際結婚ともなつた。三十四年夫の等々高等學校赴任に伴ひ岡山に移り、尙らは山陽高等女學校の英語教師に就く。日露戦争中、岡山の婦人会で浴衣をら作りて賣出した。刺繍着の考案者となつた。夙に日本基督教婦人矯風會會員として活動、各種の國際會議に代表列席するほど、久布白落實、守屋東と共に矯風會三羽鳥の一人として知られた。昭和十五年夫と共に日本に歸化、岸登恆とと稱す。二十一年以降矯風會會頭を務むる。

著書に、『型紙婦人への供版の作り方』（三版・昭和四年五月十五頁主婦文友社）、『婦人と交際』（昭和七年一月一日社会教育協會「婦人講座」）、「中家庭と婦人問題」（田中差子・奥むねのお合著、昭和十一年九月一日社会教育協會「婦人講座」）。

昭和十七年の想

の出（昭和十

十四年九月二十



五白植村書店)等。